

熊本のおもてなし  
冬



### 「どんど祭り」(どんどや)

正月の門松やしめ飾りなどを集めて燃やし、一年間の無病息災や五穀豊穡を願います。熊本県下益城郡美里町の「みどりかわ湖どんど祭り」は、日本最大級のやぐら3基を豪快に燃やします。

厳かに、にぎやかに  
人々の思いが冬を彩る



写真提供：宮嶋 昭広

### 小みかんの元祖

こうだ  
「高田みかん」(八代市)

江戸時代、紀伊国屋文左衛門が大金を稼いだという逸話がある小みかんの元祖と言われています。その由来にまつわる話は数多く残っています。現在、熊本県八代市役所の前に三代目の記念樹が植えられています。



### 「二瀬本神楽」

「火伏地蔵」を合祀する「二瀬本秋葉神社」(上益城郡山都町)では、1月に行われる祭りで「二瀬本神楽」を奉納します。神楽一番「神おろし」からさまざまな神が夜明けまで舞い踊り、中にはユーモラスなものもあり、その演目はバラエティーに富んでいます。